

シンポジウム

地域ネットワークで支える子育て

コーディネーター 中川 利彦 氏

パネリスト 工藤 充子 氏
小崎 恭弘 氏
林 明子 氏
村木 厚子 氏
柳川 敏彦 氏

中川 利彦氏

弁護士



現職

和歌山県子どもを虐待から守る審議会会長

NPO法人子どもセンターるーも理事長

和歌山県精神保健福祉審議会会長

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター家庭支援専門員

日本子ども虐待防止学会 評議員

和歌山子どもの虐待防止協会 副会長

略歴

1956年 和歌山県橋本市生まれ

1982年 弁護士登録（和歌山弁護士会に入会）

1987年 中川利彦法律事務所 開設（現、パークアベニュー法律事務所）

2007年4月～2008年3月 和歌山弁護士会会長、日本弁護士連合会理事

編著

「子どもと家族の法と臨床」 廣井亮一・中川利彦 編（金剛出版2010）

論文等

「子ども虐待と子どもの権利」 ころの科学159号（日本評論社）

「個人情報保護とプライバシー」 そだちと臨床第1号（明治書店）

「少年法の理念と少年法改正の焦点」 現代のエスプリ461号（至文堂）など

パネリスト プロフィール

工藤 充子氏

長岡京市子育て支援ネットワーク代表

1942年神戸市生まれ。66年京都府庁に入り、01年の退職まで、向陽保健所保健師を皮切りに最終は宇治児童相談所長を歴任。在職中に長岡京市で、子どもから高齢者まで幅広い世代を支援する「ほっとスペースゆう」を設立し、03年NPO法人化、理事長に就任。07年から長岡京市児童虐待防止アドバイザーを務める。

2011年長岡京市に起きた幼児虐待死事件を契機に子育て支援6団体でネットワークを組み、虐待未然防止活動を始める。

**小崎 恭弘氏**大阪教育大学教育学部教員養成課程家政教育講座 准教授（保育学担当）
NPO法人ファザーリング・ジャパン顧問

パパの子育て等をテーマに積極的に講演活動、執筆活動を行う。妻と3人の子どもの5人家族。

略歴

1991年 西宮市市役所初の男性保母として施設・保育所に勤務。佛教大学通信教育部非常勤講師、聖和大学教育学部幼児教育科非常勤講師を兼任。

2003年 西宮市役所を退職後、神戸常盤短期大学専任講師に就任。甲南女子大学・大阪人間科学大学、武庫川女子大学、関西学院大学で非常勤講師を兼任。

2014年 神戸常盤大学を退職し、大阪教育大学准教授に就任。

著書等

「育休父さんの成長日誌」 朝日新聞社 2000年

「男性保育士物語」 ミネルヴァ書房 2005 単著

「パパルール」 合同出版 2009

「新しいパパの教科書」 学研 2013 編者

「男の子の 本当に響く 叱り方ほめ方」 すばる舎 2014

等、著書多数



林 明子氏

NPOわかやま子育てサークル本部 サンマザー代表



1973年生まれ 京都府出身
 京都で学童児童の家庭支援として地域交流ボランティア活動を5年経
 験後、結婚、出産。

娘が9ヶ月の頃、夫の母と同居をするために和歌山市へ移住。地域子育てサークルリーダーを務めながら、2011年に「サンマザー」を設立。2012年に「出張託児なないろサポート」を開業。現在、和歌山市子ども・子育て会議委員、和歌山県青少年問題協議会委員、チャイルドマインダー養成講座講師を務める。

※チャイルドマインダーとは、0歳～12歳までの子どもにしつけなどの初期教育、健康管理などを行う家庭的保育のスペシャリスト。

平成23年 (2011)

NPOわかやま子育てサークル本部サンマザー設立

和歌山市子育て支援ネットワーク実行委員

和歌山大学地域連携・生涯学習センター地域子育て支援プロジェクト研究員

- ①ネットワーク実践型 地域子育て支援研究&シンポジウム パネリスト
- ②親支援プログラム あったか子育て講座「サークル活動の取組」事例発表
- ③幼稚園・保育園関係職員合同研修 地域子育て支援担当職員等研修会「サンマザーの取組」事例発表

平成24年 (2012)

早ね・早おき・朝ごはん！フォーラムinわかやま実行委員

- ④家庭支援論「子育ての現状と子育て支援活動への思い」講演

- ⑤社会教育主事講習 公開シンポジウム「子育て・子育てネットワーク」パネリスト

平成25年 (2013)

地域と大学の子育て支援研究委員

- ⑥ネットワーク循環型子育て支援研究&フォーラム「子どもの育ち・子育てサークルと親の役割」事例発表

- ⑦スポーツ推進委員研究協議会和歌山大会「子育て世代のスポーツの楽しみ方」事例発表

- ⑧子ども・若者支援地域ネットワーク形成のための研修会「地域の挑戦」事例発表

平成26年 (2014)

- ⑨子育て・子育て支援キックオフシンポジウム「子育ての現場から大学に期待すること」講演

パネリスト プロフィール

村木 厚子氏

厚生労働事務次官



高知県出身

略歴

- 昭和53年 3月 高知大学文理学部経済学科卒業
- 昭和53年 4月 労働省採用
- 平成 9年 7月 労働省職業安定局高齢・障害者対策部障害者雇用対策課長
- 平成11年 7月 労働省女性局女性政策課長
- 平成13年 1月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課長
- 平成14年 8月 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長
- 平成15年 8月 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長
- 平成17年 10月 厚生労働省大臣官房政策評価審議官
- 平成18年 9月 厚生労働省大臣官房審議官（雇用均等・児童家庭担当）
- 平成20年 7月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長
- 平成21年 6月 厚生労働省大臣官房付（21.7.13～22.9.20休職）
- 平成22年 9月 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）
- 平成24年 9月 厚生労働省社会・援護局長
- 平成25年 7月 厚生労働事務次官

柳川 敏彦氏

和歌山県立医科大学保健看護学部教授



1981年和歌山県立医科大学卒業。紀南病院、泉大津市立病院を経て、和歌山県立医科大学医学部小児科助手、講師を歴任。2004年4月和歌山県立医科大学保健看護学部に就任。

1994年米国テキサス大学医学部ガルベストーン校留学、1998年には厚生科学研究の助成を受けロンドン医科大学小児保健学部グレート・オーモンド・ストリート小児病院で小児虐待の予防活動についての研究に従事。専門は小児科、小児神経学、小児保健学。

現職

国際子ども虐待防止学会 (ISPCAN) 理事、日本小児神経学会評議員、日本てんかん学会評議員、日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) 理事、同国際活動委員会委員長、日本子ども虐待医学研究会理事、トリプルPジャパン理事長。

略歴

- 昭和56年3月 同和歌山県立医科大学卒業
- 昭和58年4月 社会保険紀南総合病院小児科勤務

昭和59年4月 泉大津市民病院小児科勤務
昭和61年4月 和歌山県立医科大学付属病院小児科助手
平成6年6月 米国テキサス大学医学部ガルベストーン校留学
平成10年11月 英国ロンドン医科大学小児保健学部グレート・オーモンド・ストリート小児
病院
平成12年12月 和歌山県立医科大学小児科講師
平成16年4月 和歌山県立医科大学保健看護学部教授

現在に至る。

所属学会

国際子ども虐待防止学会、日本小児科学会、日本小児神経学会、日本小児保健学会、
日本てんかん学会、日本小児救急学会、日本子ども虐待防止学会、日本学校保健学会、
日本子ども虐待医学研究会、日本小児感染症学会など

参考

著訳書に『エブリペアレント 読んで使える「前向き子育て」ガイド（明石書店）』、『トリプルP ～前向き子育て17の技術～（診断と治療社）』、『子どもの性虐待に関する医学的評価（診断と治療社）』など。